

第2回 江東未来会議

(第5分科会：行財政運営・協働)

次 第

日時:平成19年10月18日(木) 午後7時00分～9時00分

場所:文化センター2階 旧区政PRコーナー

- 1 開会
- 2 事務局からの連絡事項
- 3 本日のワークショップの進め方について
- 4 ワークショップ
(テーマ：行財政運営・協働分野における将来像の検討)
- 5 その他
- 6 閉会

(配付資料)

- 第1回江東未来会議 議事概要
- 本日の進め方に関する資料(補足資料)
- 江東区マップ

(事前配付資料)・・・開催案内同封資料

- 本日の進め方に関する資料ーめざすべき将来イメージの検討
- 第3回会議、第5回会議日程調整結果表

めざすべき将来イメージの検討
～行財政運営・協働（第5分科会）～

1. 進め方

(1) グループ分けとテーマ分け

- ① 全体を、3グループに分け、グループごとに「めざすべき将来イメージ」を考えます。各自ポストイットに書き出し、発表し、横造紙に添付します。
- ② それをグルーピング（検討・整理）し、その中から**最重要イメージ案1案、重要イメージ案1案の2案**を選択します。各グループごとに2案計6案が「めざすべき将来イメージ」として抽出されることになります。
- ③ その6案について、グループ相互に、他のグループに説明し、全員で情報を共有します。
- ④ この6案を、全員で検討、統合等を行い、**3案**に絞ります。
- ⑤ さらに、その3案について、事務局が次回までに他の案も勘案・精緻化し、整理します。
- ⑥ 次回以降、その3案に即して、参加希望者を再度募り、グループを3つに再編成します。
- ⑦ その新しい3グループごとに、めざすべき将来イメージの方向性、問題点の洗い出し、課題に対する解決策を詰めて行きます。

* 3ページ参照

(2) 時間配分（あくまで目安）（19時00分～21時00分）

- | | |
|--|----------------|
| ① 3グループ分け（事前） | } 15分（～19時15分） |
| ② 事務連絡等 | |
| ③ 進め方の説明 | |
| ④ 3グループそれぞれでイメージの抽出 | } 60分（～20時15分） |
| ⑤ 発表 | |
| ⑥ グルーピング | |
| ⑦ イメージの選択 | |
| 休憩：10分 | |
| ⑧ 全員で6イメージの検討 | } 35分（～21時00分） |
| ⑨ 3案に統合 | |
| ⑩ 再3グループ分けの準備
（各自次回までにどのグループに参加するかを考えてくる） | |

2. 討議について

(1) 討議の留意点

- ① 平成30年代初頭を想定した江東区のめざすべき将来像
- ② 将来像の実現に向けた、区や区民・事業者の取り組みの方向性
- ③ 「区に望むこと」「区民・事業者にできること」の2つの視点
- ④ 重点を置いて取り組む課題の抽出と具体策の検討
- ⑤ 具体的テーマは、行財政運営、23区の自治制度、協働、参画など

(2) 今回の討議内容

江東区のめざすべき将来イメージの検討を行います。例えば各自、次のようなことを考えてみてください。

- ・ 予算づくりに区民も参加すると、関心をもっともてると思う。
- ・ 区民の声をさらに吸い上げるために、「出前トーク」なんかいいな。
- ・ 区役所の人と区民が自由に話し合えるサロンが欲しい。
- ・ NPOをもっともっと支援して欲しい！
- ・ 思い切って江東市をめざしたい！

以上は、あくまで例示です。日頃思っていることを言葉にして、ポストイットに書き出してみましょう。

(3) 次回以降の討議内容

今回の討議内容を踏まえて、めざすべき将来性を3案に整理し、それぞれについて、グループごとに、次回以降討議を深めます。

第3回(11月 日):めざすべき将来像イメージの深堀り。第4回AあるいはB案の検討

第4回(11月 日): A案/施設見学会(めざすべき将来像のイメージをより理解する)
B案/討議(めざすべき将来像を実現するための現状の把握や問題点などの洗い出し)

第5回(12月 日)めざすべき将来像を実現するためのアイデア等の検討

*提言取りまとめが1月予定です。4回、5回については、第3回で検討したいと思えます。施設見学会がポイントと思われます。

3. 討議のルール

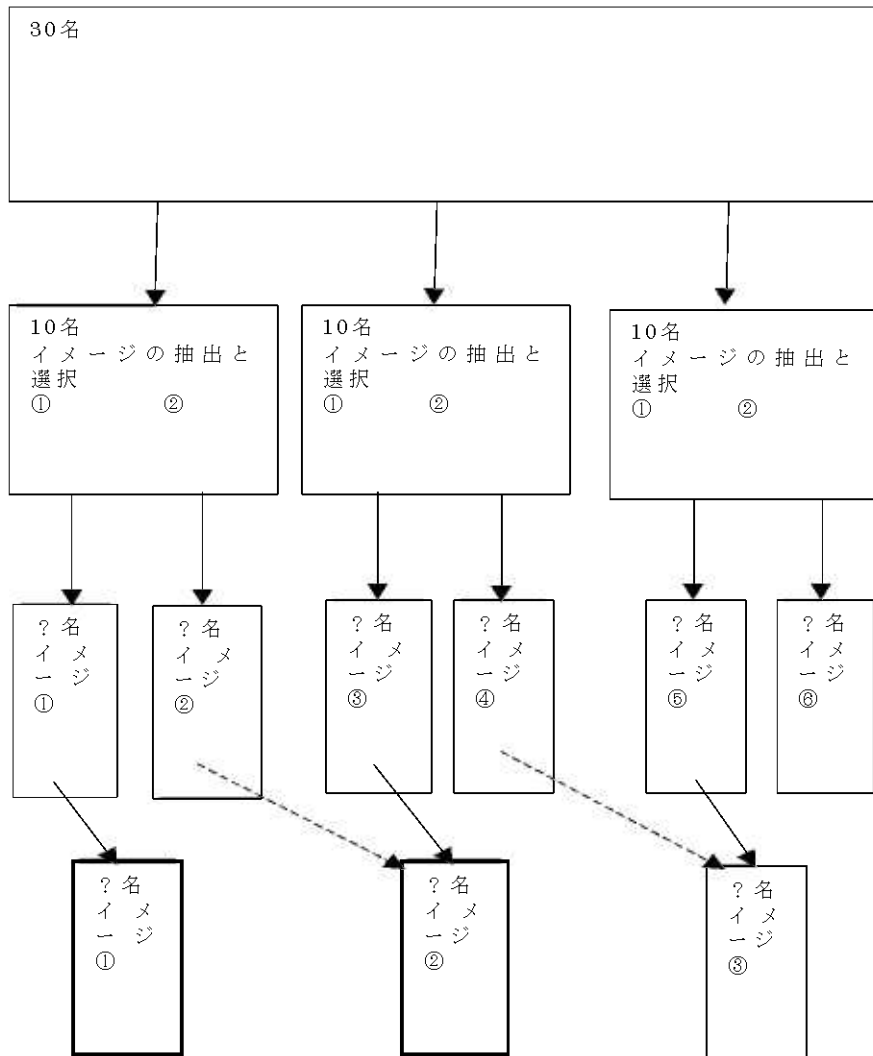
会議とは異なるワークショップ形式での推進です。「ワークショップ」とは参加者の皆さんがお互いに対等の立場で、自由に意見を出し合い、実際に意見をまとめるための協働作業をしながら、物事を決めていく話し合いの一つです。

一定のルールの中で協働作業をすることにより、問題意識を共有し、「創造的な成果」と「新たな気づきを学ぶ」ことができます。以下のことを心掛けてくださるようお願いいたします。

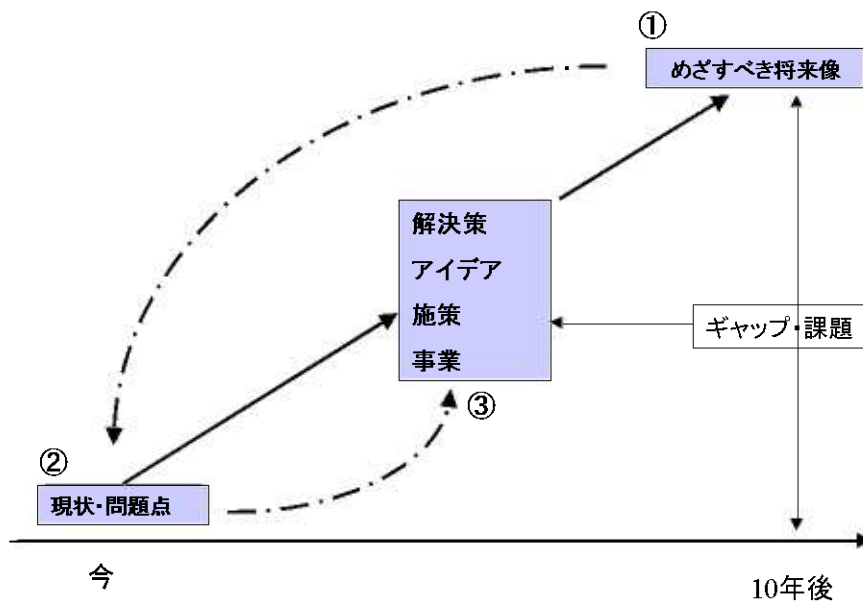
- ① 時間は有限であることを認識しましょう
- ② 参加者の自由な発想を尊重しましょう
- ③ 区全体の視点で考えましょう
- ④ 少数意見を尊重しつつ、常に合意形成に努めましょう
- ⑤ 一度合意した内容は最大限に尊重し、共有しましょう

*グループ内での進行役や、記入係(グループを代表してポストイットや模造紙に意見を記入)が必要になる場合があります。誰か1人に任せるのではなく、分担あるいは、持ち回りで行うようにしてください。

*グループごとの討議の記録は、ポストイットと模造紙に書き出された内容をもとに事務局が作成します。記録に残したい意見等はすべてこれらに書き出すようにしてください。



次回以降各グループごとに、イメージの方向性の絞込み、具体策を詰めていきます



第1回江東未来会議出席者による日程調整票集計結果

(単位:人)

名前	第1回 (出欠)	第2回 (予定)	第3回 (希望)									第5回 (希望)				
	9月26日	10月18日	11月1日	11月2日	11月5日	11月6日	11月7日	11月8日	11月9日	11月12日	11月14日	12月10日	12月13日	12月14日	12月18日	12月19日
○	24	20	14	14	13	10	8	15	15	10	9	11	11	10	11	9
△	0	1	3	5	5	7	7	4	8	6	7	8	9	12	10	11
×	5	1	6	4	5	6	8	4	0	7	7	3	2	0	1	2
合計	29	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	22	22	22	22	22

※ △は未記入、またはお任せ・不明

※2 第3回・第5回のうち○が最も多く、且つ9月26日時点で×の人数が最も少ない日の欄に色を塗ってあります。現時点での第1候補日となります。第2回の会議で再度皆さんのご都合を伺い決定したいと考えておりますので、第1候補日以外の、ここに記載されている日程のご都合のご確認をお願いします。

なお、第1回目にご欠席された方には申し訳ございませんが、第2回の予定日については第1回出席者により、多数決で10月18日(木)に決定となりましたので、悪しからずご了承ください。

第2回 江東未来会議～行財政運営・協働分野

Aグループ

行政への提言！
こんな区をめざそう

これだけの財源で何をめざすかの未来像をもつべき。

行政への提言！
こんな区をめざそう

目指す未来像
伝統・歴史・近代化が調和した町

予算・税の使い方

- 予算・税金の使い方に区民の参加を。監査チェック提言。
- 暮らしやすい街をめざすための予算分配。
- 税金の使い方について区民の意見を聞く場をつくる。
- 公務員を出来るだけ少なくし、無駄の無い区政をめざす。
- 議員を少なくしよう。(区議会)

自然・文化再び 江東区めざして

- 伝統文化(手仕事、歴史、家並など)を大切に継承する江東区
- 水と緑を育み、いつくむ江東区。Greenベルトを市民で創造
- さかなを安心して食べれる(江東区で釣った)
- みどりいっぱい江東区
- 区一市 区域一区 イメージもっと独自性、独自性
- 町角ポスト等を設置。もっと区民の声が上がりやすい体制をつくる。
- 商店街で買い物をする区民がするとレシートをもって、税の申請時に消費税をバックする。
- アウトソーシングに疑問あり。教育、保育行政など人づくりにはそぐわないのではないかと思う。

車社会を考える 交通の再考

- 豊洲・新木場・砂町・亀戸を結ぶ交通網の整備
- 脱車社会の江東区
- 都バス、コミュニティーバス(公共交通)の充実を
- 放置自転車対策をもっとすすめ、町づくりに活かす
- 亀戸-新木場方面の貨物線の活用
- 放置自転車(バイク)の撤去について
- 水彩都市を活かし舟運を活用する交通機関の実現

自然エネルギー・環境・ごみ

- 自然エネルギー活用先進都市江東区
- ごみなしの江東区
- 環境先進都市ごみゼロ江東！を市民、行政事業者と共にめざしたい。
- 脱リサイクル社会ーリユース・リデュースのめざしたい江東区
- 拡大生産者責任が実現している江東区
- 容器包装リサイクル法で廃プラを再利用
- ゴミの減量リサイクルについて区民参加の取り組み意識改革を

高齢者&お子さん 教育対策

- 高齢者のための老後の学校制度を設ける。
- 若い夫婦らの子育てを教育する制度(食育など)
- 福祉の充実で(保育園、介護施設他)雇用の拡大を促進。
- お年寄りが少ない子ども達とふれあう場の創設
- 孤独老人が楽しく生活出来る街になる様に
- 年寄りを大切にする子供を育てる教育

観光資源を活かす

- 「小津」の名を冠した区民は割引きで入れる。名画座を作る。
- 観光収入のため、架空の人、実在の人、故人の〇〇住民票を発行する。(北区)

安全防災

- 安全・安心な町づくり
- 防犯防災対策
- 世田谷区のように民間派出所(交番)を設ける。(区警署備)

地区地域開発

- 区域に分け、各区域に特色をもったサロン等の拠点を作る。
- 区民・地域で協働で、たちあげる事業のコンテストを行い、優先事業を現実化していく。(審査員は未来会議)
- 亀戸地区の開発についていろいろな世代のたまり場である町に縁側を作り支援する。

NPO支援

- 地方と連携し、農(地産地消)を育む江東区
- NPO支援のため江東NPO基金？を作り、毎年表彰する(ノーベル賞、交流会)
- NPOの自立を応援する江東区。下請けではなく、自主自立を育てる。
- あらゆる世代が安心・安全・自立を保障できるしくみをNPOなどと協働でつくる。

→第4分科会

→第1・3分科会

第2回 江東未来会議～行財政運営・協働分野

Bグループ

行政

財政 ムダにしないチェック

使ったお金がむだになって居ないかチェックは必ずやる。

財政を長期的に考えて貯めて残し税負担を減らす。

行政からの区民の自立を促す。NPOや区民を活用した新たな行財政運営。

単年度予算ではなく、余ったお金を次年度以降にも繰り越せる財政システム

現在少子化が進んでいる中で江東区もいずれ人口が減少する。今から財政をしっかりと置く事と思われる。

業務の民営化・分担 区民が運営

行政が全て担うのではなく、事業者やNPO・市民それぞれが分担した公共サービスができています。

業務のアウトソースの区民制⇔アウトソースと地域密着

区民が運営していく行政への転換

民営化・民間委託の推進(EXコールセンター)＊現状をあまり知りませんが、

行政の事業に対し、第三者が評価し、より良い事業へ改善していくシステムが実現できている。

モットーとして

人にやさしく思いやりのある江東区

区営の葬儀場を作れ(湾岸地帯)

みんなが集まる区役所

親切な人のいる出張所

中小企業基本条例がない

慣れた過去にしばられない行政

本気になってくれる行政

職員の理念の統一。行政は区民のため、全ての仕事は区民の利益のため

職員は区内で生まれ生活していること。生まれ育った江東区への愛情

日本で一番質の高い区民サービスを提供する区役所(行政サービス業)として。

江東区一律ではなく、地域ごとに違った公共サービス-ex、まちづくり(施設づくり、都市計画)福祉(子育て、高齢者)

区議会運営 ちゃんとやってほしい

行政のための行政や議員のための行政をやめて区民(住民)のための行政を。

区民が参加出来るように議会の開催を夜に行ってほしい。

区政の双方向化、興味関心を引き出す(ex！町議員)

区議会は10人位の賢人会議でよい。

住んでいる場所選ばれた政治家の名前を言える区

区議の何名かは無給の人がいても良いのでは(何でも発言できる人)

協働・参加

公的な事業(特に地域のまちづくりに関して)に対して、計画段階から広く市民の声を集め、反映できる。

公共施設への運営・管理に市民の声が活かされる一身近な公共施設になるように

若者・子どもが地域の町づくり活動に積極的に参加するようにしたい。

江東区在住でなくても江東区の町づくりに参加して江東区を良くしてほしい。

教育

頭のやわらかい子のいる区

区独自のユニークな教育制度(特区イメージ)＊民間の人間とのコラボレーション

子ども達の成長を地域の人々(たっくさんの世代)が見守るような町

自分の特技を活かすことが出来る町

→第1分科会

参画・協働

理念

長期在住のススメ(コミュニティの強化)

新入と既存の融和(世帯者のみ！?)

イベント

安く手軽に参加出来るイベント

夏の祭りに参加者がとても多い区

江東区出身の著名人をめぐるイベント

プロスポーツチーム(求心)

体育施設有料化→無料に

高齢者の体育施設が有料化されたが健康であれば、医療費が少なくなるので無料でのよいのでは。

→第3分科会

環境

職員に無記名で理想の江東区と自分の使命をアンケート出させる。

墨田区が喫煙禁止なのに江東区はばい捨禁止レベルが下です(歩道上)

環境問題への取組み(530)＊区と区民で推進

土地拡大による収入増(明確なエリア分割)

リサイクル最先端！！

→第4分科会

第2回 江東未来会議～行財政運営・協働分野

Cグループ

行政への参画

その1 政策のチェック評価

区政(行財政)の情報が理解しやすい形で公開されている。

政策評価をしっかりとやる。その情報公開も。

職員の人事移動を機能的にしている。事業の途中で何でもまずい。

区民・事業者の意見・考え方が区政に反映されている。

税金の使われ方に注目したい。無駄づかいのないように！区民ひとりひとりが幸せであると感じられるように！

NPO活動は行政と対等な関係で(下請ではない)

たてわり行財政のへい害の排除

その2 多様な参画の推進

区政(例)文化センターの実施する内容を区民参画で計画があたり前の10年後

はば広い若い世代の住民が参画できるようにする。広報とかも

参画の形態(個人・家庭・各種団体)がいろいろあって、自分にあったものを選べる。

区民・事業者が各々の役割を意識して区政に参画している。

外国人も住みやすいまち一観光もねらって

国・自治体との協働

区のわくを越えて、他の区や市と協同して活動をしている。

区内の都の資源(人材・物的等)を有効に利用

他区との協働、共有が来ている事

全てのバリアフリーを 目指す水彩都市・江東

コミュニティ

伝統と若者文化の融合

日本の伝統と新しき都市開発との調和による新時代コミュニティの創造

高齢者ばかりの街にはしたくない。若い人にとって魅力のある所であって欲しい！活気のある街、子供の多い街

男女の平等

真の男女対等、平等、実現された区へ
区の人口M211,500人・W211,400人なのに
一全ての分野、行政管理
職・町会・教育分野・審議会他50%の男女比で。

女性も安心して働ける街
→人口が減っている

→第2分科会

まちづくり

複合型、多機能型施設の中に専門性の高い施設を区で一つ設けて！

10年後、住みたい街と聞かれたら？江東区と答える人が多い(理想)です。

江東区は交通が不便だと感じている。人口が増加しているので、メトロの駅やバスの路線の見直しを！！

→第4分科会

特性を生かした環境

水の都(ベニスのような)江東区(川を中心とした発展)

緑と水に金をかけて区が生きのこる道

自然と動物と人が共存する都市

豊かな水(運河・海・河川)環境の活用とみどり(目玉になる緑地)の調和→東京都の風道入口

→第4分科会